

[通常機体] フ F 「MSV」

フルアーマーガンダム

機体名	フルアーマーガンダム	画像
型式番号	FA-78FA-78-1	
英語名	FULL ARMOR GUNDAM	
所属	地球連邦軍	
パイロット	ハインツ・ベア中尉アムロ・レイ少尉（予定）	
装甲材質	ルナチタニウム	
装備	頭部バルカン×22 連装ビーム・ライフルロケット砲肩部7連ミサイル×2 膝部6連ミサイル×2	
作品名	MSV	
参考書籍	MSV コレクションファイル GFF <u>フルアーマーガンダム</u> MIA <u>フルアーマーガンダム</u> SD ガンダム BB 戦士シリーズ No.251 機動戦士ガンダムギレンの野望 ジオン独立戦争記スーパーロボット大戦 XO 完全解析ファイル	

内容

FA-78-1 は RX-78 の機体に増加装甲と武装を装着するというものだったが、それは最大の武器である運動性の低下を引き起こすと予想され、本計画案は見直しを迫られることとなった。実働寸前にまでこぎつけていたものの、試作以前の段階で終わった。増加装甲案計画は机上のもので終わったとされてきたが、ハインツ＝ベア中尉が実際に実戦投入したとされる記録も存在する。

MSV コレクションファイル

RX-78-2 の活躍は、結果として NT の存在が表面化するという大きなイレギュラーな事象を発生させた。

そしてこの事実は、ジオンと連邦双方に NT 用 MS の開発を行なわせることになる。

まず最初に着手したのはジオンだったが、連邦も秋頃には複数の開発計画を実行に移す決定を下した。

その1つが FSWS というコードを与えられた NT 用重武装 MS 計画であり、そこで提案されたのが、RX-78 のフルアーマー化である。

本案は RX-78 の機体に増加装甲と武装を装着するというものだったが、それは最大の武器である運動性の低下を引き起こすと予想された。

こうして本計画案は見直しを迫られることになったのである。

MIA

大戦末期に計画されていた RX-78 用増加ウェポンシステムの1つとして戦後公表された、通称「フルアーマーガンダム」は未だに謎の多い機体である。

元々の計画内容は、ニュータイプパイロットへ向けて現存する RX-78 タイプのみを母体として、

増加装甲、追加武装、補助推進機を装着、各部はユニット化し、パーツは脱着簡易性が高く、装甲使用度の比較的高い部分のみに設置されるように設計が進められていたようだ。

実働寸前までこぎつけた増加ウェポンシステム機は、FSWS のコードネームで呼ばれ、FA-78-1 の正式名称が与えられた。

ソロモン攻略戦直後に起きたサイド 6 沖遭遇戦へ実戦投入されたとする説が存在するものの公式には一年戦争に投入されていないとされている。

戦後、ジオン軍残党掃討戦用に同機が実戦配備されたらしいが、本来のニュータイプパイロットが乗ったかは定かではない。

GFF

RX-78 の戦闘力向上案は「FSWS」のコードネームで呼ばれ、MS 単体としての戦闘力を極限まで引き上げる事を目的としていた。

この FSWS を装着した「FA-78-1 フルアーマーガンダム」は、来るべき決戦に備え、現存する RX-78 に装着して実戦に投入することが計画された。

最終的に採用されたプランでは、改修パーツを RGC-80 の脚部装甲同様、簡易着脱式のオプションとしてパッケージ化し容易に着脱できるよう配慮されていた。

武装は右腕に 2 連装ビーム・ライフルを固定し、予備バレルは左腕の装甲板上に携行される。

背部に 360mm ロケット砲 1 門が装着され、両肩と膝にはミサイル・ベイが装着された。

また、これらの重量増による機動性の低下については、バックパックと脹経部に補助推進装置を取り付けることで対処している。

FA-78-1 は十分な開発期間も与えられないまま簡易装着型ウェポンシステムとして計画が進められたが、戦力化される前に終戦を迎え、軍部の過大な期待に反し、結局、なんら戦局に寄与することなく終わったのである。

ギレンの野望

簡易装着型の増加装甲を施したガンダムの改修機。

小数精鋭による MS 部隊の設立に合わせて進められた、フルアーマー・オペレーションに基づいて開発された機体である。

増加装甲にはバーニアや武装が装着されており、攻撃力の獲得と機動性の維持が図られている。

ガンダムクロニクル

FSWS と呼ばれる装甲・武装強化計画によってガンダムに強化装甲システムを装着した機体。

2 連装ビーム・ガンやキャノン砲を装備し攻撃力・防御力は大幅に向上している。

反面、重量増加により機動性が著しく低下するのを見越して、アーマーの脱着を可能とした。

アクシズの脅威 V

フルアーマーオペレーションに基づいて試作された増加装甲をガンダムに装備した機体。

高い耐久性能に加えて武装追加による火力の強化がなされている。

スーパーロボット大戦 XO 完全解析ファイル

G-3 ガンダム に増加装甲を施した重武装モビルスーツ。

戦闘中に分離を行うことで G-3 ガンダム になることができる。

弾数は少ないがロケット砲は威力は抜群。

備考

ヘッドギア

SD ガンダム BB 戦士シリーズでのオリジナルのヘッドギア。

メインカメラ、デュアルアイ部分をカバーする形で装着されるが、見た目的には難がある感じ。

メインパイロット解説（MIA）

戦後刊行された「一年戦争戦略戦術大図鑑」に拠れば、戦中の地球連邦軍のエースパイロット十傑の一人にフルアーマーガンダムのパイロットとしてベア中尉の名が記されている。

彼の申告スコアは敵機 37 機、戦艦 2 隻だったようだ。

関連機体

- ・ G-3 ガンダム
- ・ フルアーマーガンダム（増加装甲未装着状態）
- ・ G ベース

スペック

項目	内容
全高	18.0 m
頭頂高	
全長	
本体重量	62.5 t
全備重量	
ジェネレーター出力	
スラスタ推力	
センサ有効半径	